

令和2年度第3回美浜町総合計画審議会議事録

日 時：令和2年6月18日（木）9時30分～11時20分

場 所：美浜町役場 3階 大会議室

出席者：審議会委員16名、事務局6名

審議会 千頭会長、牧副会長、川上委員、岩本委員、内田委員、吉田委員、
野田委員、横田(和)委員、横田(全)委員、廣澤委員、廣重委員、
久木委員、富谷委員、鈴木委員、伊藤委員、末盛委員

事務局 杉本総務部長、戸田企画課長、成田総務部主幹、森田企画課係長、
村田主査、酒井主事

次 第：1 あいさつ

2 議題

(1) 後期計画修正（案）について

(2) パブリックコメントについて

(3) 意見交換

3 その他

1. あいさつ（進行：戸田企画課長）

- ・会議成立の報告（全員出席）
- ・杉本総務部長挨拶
- ・千頭会長挨拶

2. 議題（進行：千頭会長）

(1) 後期計画修正（案）について

事務局：前回審議会でも出された意見等に対し、修正点の説明が資料にそって行われた。現時点では「後期計画（案）」の図・表が一部更新できていないとの事前説明があった。

委 員：12頁の土地利用の方向性構想図だが、小中一貫校がどんどん具体的になっている中、⑦「教育スポーツゾーン」が2つに分断されてしまっているのが大変残念。書き方の工夫でもあるが一体化できないのか。

委 員：先日の大学との打ち合わせでも発言したが、自分の理想は、小中一貫校を奥田に作ることだ。他の項目とも関連するが、大学との連携は大切なことである。

事務局：2つとせずに一体化という意見は他の会議でも出ていることは知っている。しかし都市計画マスタープランの兼ね合いもある。小中一貫校の具体化、大学との連携課題、設置場所は未定、という現状もあるのでご理解を願いたい。

委 員：⑤「地域活力ゾーン」については、企業誘致だけでなく観光を含めた商業について考えて欲しい。西部線の開通を見越して⑤のゾーンを南に拡大したほうが今後良いのではないか。

事務局：インターの場所や都市計画マスタープランとの兼ね合いもあり、ご理解いただきたい。

委員：土地利用について、最近変わっている筈であり確認して欲しい。土地計画と整合性をとった方が良いのではないか。

事務局：整合性はとっていききたい。

委員：例えば、③「緑地・レクリエーションゾーン」、④「観光農業ゾーン」について。インターは豊丘（南知多町）であるがインターとしては同じ。南知多にあるインターだが来てくださるのは美浜と考え計画して欲しい。

委員：パブリックコメント、閲覧場所は役場だけか。もっと幅広く住民の意見を聞くべきである。

事務局：西部についても考えている。

委員：14頁の施策大綱についてだが、基本計画における各施策に活かされていない。例えば開発や津波対策について。

委員：悪質な犯罪は起きていないが、防犯カメラがあった方が抑止力になる。今、美浜町に何台設置しているのか？

事務局：知多奥田駅と河和駅の駐輪場に2台設置している。

委員：西海岸で一時期不審火が多くあり老人は不安に思っている。個人で設置したいと思うほどであり、公でつけて欲しい。

事務局：財政上、町が設置するのは難しい。防犯カメラの設置は、区に補助金を交付して、設置・維持管理をお願いしている。

会長：防犯はアンケートでも関心が高いところ。

委員：河和の国道沿いはシャッター通りだ。河和駅も賑わいが無い。計画上は「住宅・商業ゾーン」であるが本腰を入れてやってもらいたい。

委員：近年、美浜町のスポーツ施設は充実している。しかし団体や施設利用は減っている。スポーツ協会は、スポーツ少年団を増やし町内スポーツの活性化を課題としている。是非97頁の施策③にスポーツ少年団を追加して欲しい。

事務局：生涯学習課と調整の上、スポーツ少年団の記載を検討させていただく。

委員：昨年の台風19号の時、防災無線で「扇風機持参」、「食料飲料持参」の案内があったが、老人には無理である。後日、民生委員の会でいろいろ聞いたが、防災無線を放送する際は、分かりやすく説明して欲しい。

事務局：台風時には食料を提供できないし、風水害の事前避難の時は時間の余裕があるので、そのような案内になった。必要な人は持参して欲しいという主旨である。説明の仕方については反省している。

委員：東日本大震災時、民生委員は動けなかった。防災については町と区が動かないといけない。

委員：町の成り立ちの歴史的背景として、河和町と野間町が合併して美浜町となった。今でも東部・西部と言われ、その間には未だ高い山があるようだ。しかし町の計画については鳥の目で見たい。先ほどの土地利用も同じである。また、美浜町は観光を主要産業として謳っており美化（海も含め）が大切だ。国道・県道など草が多く未整備であり美化に力を入れるべき。国や県にもっと要請すべきだ。さらに、13頁の④の「農業交流拠点を中心とした里（美浜の里）」の部分は大切な施策なので、町長が変わっても継続して

欲しい。

委員：法律や担当課の問題もあり、個別に詳しくは記載できないと思うが、ざっくりとした計画を作って、カラーで印刷製本しても、どれだけの住民が見てくれるか疑問である。

事務局：広報の仕方の問題と認識しているので検討する。但し「後期計画」は中間見直しでもあり策定時と同等の製本までは考えていない。町民に伝わるように PR したい。

委員：委員をやっていない限りこのような計画は分からないと思う。時間を割いて作った計画であり住民に伝えて欲しい。

会長：例えば広報誌に 2 回ほど連載する等、広報の強化を要請したい。

委員：住民は配られてもこれを見ただけでは分からないと思う。

委員：見直し自体はこれで良いと思う。ただ、コロナ問題が起きたこともあり、この計画で正解とは言い難い。最上位計画ではあるが今後も柔軟に対応して欲しい。

事務局：財政的な制約があるが極力やっていきたい。

委員：今後のことについて、基本構想の土地利用の方向性のところであるが、例えば名古屋の人が月 1、2 回程度、農業のために来るといふ事業はあるのか。ゆくゆくは移住にも結びつくはず。美浜は緑が多くきれいだ。コロナでは都市に住むリスクを感じた。また、後期計画の周知については、行政に関わりたい学生を使って瓦版を作って配布するなど、学生を利用したらどうだろうか。

事務局：市民農園の活用、貸農園については「美浜の里」構想でも考えている。町としても交流人口を増やしたい。また、後期計画の周知については、学生さんに協力してもらい実施していきたい。学生にとっても行政を体感する機会として欲しい。

委員：86 頁に公立保育園のコメントがあるが、何故私立について記載しないのか。また、88 頁の福祉施設に関する記述に、何故チャレンジドの活動を記載しないのか。114 頁の LGBT の最後の説明文の「性的少数者」という表現がひっかかる。広報は難しい。広報をしても住民が分かっていない。ウェブに載せてもそのサイトにたどりつけない。学生に講義する機会があったが、学生は美浜町の情報や活動が分からない、という。若者は SNS 含めネットで情報を調べる。広報の仕方については考えて欲しい。

事務局：記載については担当課と相談の上、修正させていただく。広報については学生を含めた PR をしたい。

委員：美浜町の最大の課題は人口減少と財力だ。コロナの影響でテレワークが広がっており、首都圏では月一回東京に行けばよい、それ以外は在宅でもどこでもよい、ということだ。美浜町はコロナ感染者ゼロであり、「美浜町移住」の施策を是非散りばめて欲しい。

事務局：地方が注目されているのは確かである。シティプロモーションでも考えてみたい。

委員：広報等で学生に投げかけることは大切だと思う。空き家問題であるが、空き家と言ってもいろいろあり整理して欲しい。

事務局：2 年前に町内の空き家について調査した。300 軒ほど空き家がある。空き家バンクを利用しながら交流人口を増やしたい。

委員：空き家バンクを活用するなら付加価値を付けて欲しい。美浜町内施設の Wi-Fi 化と空き家をミックスして考えても良いかと思う。今後の定住促進にとっても大切ではないか。

委員：11 頁の推計人口だが、本文とグラフの数値が統一されていない。

会 長：本文は概数にしたが、グラフの数値によってどのように丸めるのか悩ましいところがあった。検討させていただきたい。

委 員：知多奥田駅前の運動公園の建設が着々と進んでいる。この完成イメージ図をどこかに載せて欲しい。

事務局：掲載する予定である。

(2) パブリックコメントについて

事務局より資料に基づき、後期計画案に対する意見募集について説明があった。西部地区にも閲覧場所を設けることが述べられた。対象者・閲覧場所等の詳細は広報誌に記載する。

3. その他（進行：企画課長）

- ・事務局より、次回の審議会では、パブリックコメントの意見を反映させた「中間見直し案」を報告し、町長へ答申する旨表明があった。

【第4回審議会 令和2年8月4日（火）9：30開始】

以上